

成果報告資料

(地域部活動推進事業)

掛川市立城東中学校他 ← 拠点校名等

| | |
|-----------|---|
| 所在地 | 静岡県掛川市 |
| 運営主体 | 掛川市教育委員会 |
| 事業目標 | 現在の部活動には、生徒・教員数の減少、教員の多忙化、生徒・保護者のニーズの多様化等の様々な課題が挙げられている。このような課題を解消し、生徒・教員にとって望ましい部活動を行うための体制や環境の整備等の仕組みの構築を目指す。本事業を通して、段階的に学校部活動を地域に移行するための手立てや仕組みを実践的に研究し、その成果等を県内に広めることで、モデル市以外でも、各地区や市町の実情に応じて部活動の地域移行が実施できるようにする。 |
| 団体・組織等の連携 | 本事業における運営主体の掛川市教育委員会は、掛川市立城東中学校を拠点校の中心に設定するとともに、活動主体として、特定非営利活動法人掛川文化クラブに再々委託した。掛川文化クラブは指導者や学生ボランティアを集め、練習会や体験会等の運営に当たった。この掛川文化クラブは学校に吹奏楽部がない生徒やその他の文化部や運動部に所属している生徒にとって、新たに音楽活動(吹奏楽、弦楽、合唱)を行うことのできる場となった。また、地域の楽団に所属する演奏家や高校生などのボランティアの支援を受けながら、質の高い指導を受けることのできる環境をつくることで、生徒の演奏技術の向上につなげることができた。 |
| 活動場所 | 掛川市立城東中学校校舎 掛川市生涯学習センター 掛川市大東北公民館 掛川市市民文化会館シオーネ |
| 活動概要 | 掛川文化クラブは水曜日(全12回)と土曜日(全21回)に掛川市立城東中学校や市内公民館、掛川市生涯学習センター等を拠点として活動を行った。特に拠点校である城東中学校の吹奏楽部員が掛川文化クラブの活動に参加できる機会を設け、地域人材による指導や部活動顧問の負担軽減などについて成果や課題を明らかにするための実践的な研究を行った。 平日については部活動顧問による指導に加え、掛川文化クラブのスタッフが部活動指導員として指導に関わることで、顧問の学校業務に携わる時間を確保するだけでなく、休日の掛川文化クラブでの活動と関連付けることができた。 休日については、10月より月に1回程度、吹奏楽部と掛川文化クラブの活動時間を調整し、吹奏楽部員が掛川文化クラブの活動にクラブ会員として合同で練習した。また、11月27日には掛川文化クラブと市内中学校吹奏楽部の合同練習会を開催し、地域のクラブで音楽活動を行うことのよさを伝える機会を設けた。さらに、1月22日には成果発表会を開催し、クラブ会員の発表の場を設けた。 |

○本事業による成果

【成果】

(顧問の視点)

◆合同練習や吹奏楽交流会が開催された10月～12月の城東中学校吹奏楽部顧問の休日の部活動従事時間は、一昨年度に比べて削減することができた(一昨年度は48時間、今年度は43.5時間、約10%減)。週休日に2日間とも休むことができることに大きなメリットを感じている。また、吹奏楽部の平日の活動を掛川文化クラブの指導者が部活動指導員として指導に携わったことで、指導者との信頼関係の構築や指導の継続性が図られ、生徒にとって合同練習会への参加がより有意義なものになったと感じている。

(参加した児童生徒の視点)

◆掛川文化クラブの会員アンケート結果は次のとおりである。(回答数:9)

○掛川文化クラブの活動に満足している。肯定的回答割合:100%

◆掛川文化クラブとの合同練習会に参加した城東中吹奏楽部員のアンケート結果は次のとおりである。(回答数:22)

①これまでの掛川文化クラブとの合同練習会に満足している。肯定的回答割合:77%

②地域の指導者による技術指導に満足している。肯定的回答割合:77%

③今後も地域の指導者による指導を受けたいと思う。肯定的回答割合:59%

④掛川文化クラブに参加し、音楽活動に取り組みたいと思う。肯定的回答割合:46%

⑤将来、地域の楽団に参加し、音楽活動に取り組みたいと思う。肯定的回答割合:23%

◆掛川文化クラブの吹奏楽交流会に参加した生徒のアンケート結果は次のとおりである。(回答数:51)

①今回の吹奏楽交流会の活動に満足している。肯定的回答割合:92%

②地域の指導者による専門的な指導に満足している。肯定的回答割合:98%

③他校の生徒との交流に満足している。肯定的回答割合:89%

④全体での合奏に満足している。肯定的回答割合:94%

(保護者の視点)

◆「地域で音楽活動できる場所が少ないことから、掛川文化クラブのようなクラブができたことはとてもうれしい」(クラブ会員保護者の感想)という声が聞かれるなど、本事業を期待を寄せる保護者が多かった。

◆吹奏楽交流会に参加した保護者のアンケート結果は次のとおりである。

①今回の吹奏楽交流会のような他校の生徒と交流する機会があるとよい 肯定的回答割合:100%

②今回の吹奏楽交流会のような地域の指導者から技術指導を受けられる機会があるとよい 肯定的回答割合:100%

○児童・生徒への指導に関する工夫

・地域の市民楽団に所属する楽団員が指導した。長年、楽器の演奏を経験していることに加え、社会人になっても音楽活動を継続しているため、生徒に音楽を生涯にわたって楽しむことのすばらしさを伝えることができた。

・各パートに指導者がいるため、学校部活動ではできないようなきめ細かな演奏方法の指導ができた。また、楽器の状態確認やメンテナンスの方法などの技術指導以外の指導も実現した。

・指導者は地域の楽団に所属しており、常に研鑽を重ねているため、生徒は高度な演奏技術を目の当たりにできる。また、指導者同士の横のつながりを生かすことで、指導過程で気付いたことを共有し、生徒個々の習熟度に応じた適切な指導ができた。

・学校の校舎を使用することで、感染予防対策を徹底しながらパート別の練習を行うことができた。

○運営上の工夫

・掛川文化クラブは地域の楽団を運営するスタッフが関わって運営されている。そのため、地域指導者の確保や発表会等の運営など、地域団体の良さを生かした運営ができた。

・掛川市教育委員会が中心となることで、募集チラシの配布や休日の校舎使用、各校の吹奏楽部同士の連携、交流会の案内配布など、拠点校以外との連携もスムーズであった。

・掛川市教育委員会を中心に市内小中学校で使用されていない楽器を集めたことにより、活動に十分な数の楽器を確保できた。

・学校の校舎を活用することで、会場費用の負担を軽減した。

○継続的な運営に関する課題

- ・多くの指導者が民間企業等に勤務をしながら指導に携わっているため、人数がそろわず、活動ができないこともあった。特に平日の夜間の活動は指導者数が不足しがちである。クラブの活動を持続的に行うためにも、学校や地域と連携した指導者確保の仕組みづくりは必要である。
- ・指導者の多くは生徒等への指導経験がないため、部活動顧問のような教育的な視点が十分ではない。思春期特有の心の状態や、特別な支援が必要な生徒への適切な指導について理解を深めるための研修制度を充実させる必要がある。
- ・市内小中学校から集めた楽器の多くはメンテナンスが必要で、実際に使用できる楽器数は不足した。また、公共施設には楽器の保管場所が十分でない。
- ・ほぼすべての小中学校が休日の活動場所として校舎内を提供できなかったため、活動場所を交通の便がよい場所に設定することができなかった。その結果、送迎を理由に参加を見送る生徒もいた。
- ・会費は月1,000円で運営したが、会場費や楽器のメンテナンス費、ボランティアスタッフへの謝金などを支払うためには十分でない。会費の値上げについて検討しているが、参加生徒数の減少の恐れがあることも踏まえ、適切な会費金額の設定をする予定である。なお、学校以外の活動場所は指定管理制度を採用している施設であるため、減免申請が難しい状況である。
- ・生徒や会費の管理、運営資金繰りはその業務量が多く、民間企業に勤めながら他の楽団等でも活動しているスタッフにとっては大きな負担である。このことが、今後のクラブスタッフの人材確保に困難をきたすことがないように、クラブ管理運営の業務量を見直すことが求められる。
- ・クラブには独自の活動方針(活動内容、活動回数)があり、コンクールやコンテスト等へ出場することを目的としている部活動との連携が難しいことがある。
- ・指導者は各楽器のエキスパートではあるが、吹奏楽団全体を指導することについては、難しさを感じる者が多い。指導者へのアンケート結果は次の通りである。
 - ①今後も中学生の指導に関わりたい。 肯定的回答割合:92%
 - ②将来的に、部活動顧問のように中学生の吹奏楽団全体を指導したい。 肯定的回答割合:30%

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

1 部活動の地域展開方針

(1) 方針

平日も含めたすべての部活動を地域クラブ化する。また、ニーズに応じた新たなクラブを設置する。

(2) 管理体制

本研究で連携した掛川文化クラブのような市民による地域クラブの設立には大きな労力が必要であり、他の種目に横展開するためには指導者だけでなくクラブの管理運営をする人材を確保しなければならず、持続可能性の点からも課題が多い。そこで、一般財団法人掛川市文化財団と連携して、クラブの管理運営を担う「地域クラブ管理事務局(仮称)」の設置により、現在の学校が管理する部活動を事務局が管理する地域クラブに移行し、会員や会費の管理、指導者の派遣などを事務局が担う体制にする。このように管理運営と指導を分業制にすることで、様々な分野において指導者が参画しやすい環境を整える。今後、掛川市の文化部活動は、管理事務局が管理する文化系の地域クラブと掛川文化クラブのような市民団体が立ち上げた地域クラブに代わる。

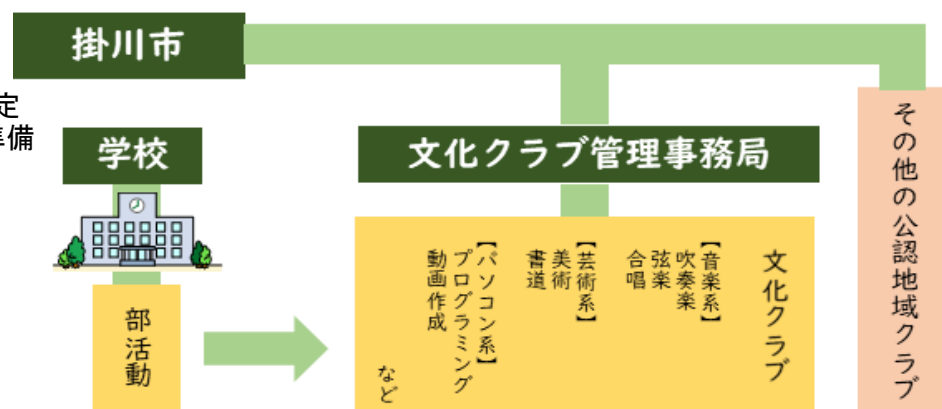
2 地域移行スケジュール

令和4～8年度

- ・部活動地域展開基本計画策定
- ・地域クラブ管理事務局設立準備
- ・公認クラブ活動支援
- ・指導者確保、育成
- ・市民への広報
- ・部活動数の適正化検討
- ・会場、指導者調整 他

令和9年度(予定)

- ・部活動の完全地域クラブ化



3 新たな制度設計

(1) 指導者公認制度

地域指導者の研修を開催し、受講を要件とした公認資格を設ける。部活動に代わる地域クラブの指導者については、本公認資格の取得を義務付ける。

(2) 地域クラブ公認制度

掛川文化クラブのような、市民発の地域クラブを掛川市教育委員会が公認し、その活動を支援する。

(3) 教員の兼職兼業

指導を希望する教員が兼職兼業の許可を得た上で、本務に支障がない範囲で指導に携わることができるようにガイドラインを作成する。

(4) 地域クラブ管理マニュアル

地域クラブの管理事務局が安全・安心で充実した活動を提供できるように、管理マニュアルを作成する。

4 令和4年度の計画(案)

(1) 部活動地域展開研究委員会開催

- ・部活動数適正化計画作成部会
- ・教員の兼職兼業ガイドライン作成部会
- ・部活動管理マニュアル作成部会

(2) エリア部活動実践研究

(3) プログラミングクラブ設立準備

(4) 指導者研修開催および公認指導者制度施行

(5) 部活動指導員(地域指導者)募集、管理(指導者バンク制度)

| | |
|---------------|--|
| 募集方法 | チラシ配布、学校での通知 |
| 指導者 | 特定非営利活動法人掛川文化クラブ理事6人 地域の市民楽団で活動している演奏家7人 |
| 移動手段 | 保護者による送迎 |
| 活動費用 | 月1,000円 |
| スケジュール | 4月 募集案内配付 5月 クラブ説明会、体験入部 6月～1月 クラブ練習会(水曜日12回、土曜日21回) 8～9月 緊急事態宣言のため活動休止 10月～1月 城東中学校吹奏楽部合同練習会 11月 市内吹奏楽交流会 1月 クラブ成果発表会 |
| 保険加入等 | スポーツ安全協会保険 活動参加児童生徒 23人 地域指導者 21人 学生ボランティア 4人 |

【活動の様子（写真添付）】

